

## 参考文献

- 1) 建設省河川局砂防部砂防課 (1999) : 土石流危険溪流および土石流危険区域調査要領 (案)」、p. 17
- 2) 桜井亘 (2002) : 小規模な溪流で発生する土石流の流出土砂量に関する研究、土木技術資料、44-4、p. 6-7
- 3) 工藤司、内田太郎、松本直樹、桜井亘 (2015) : レーザープロファイラデータを用いた土石流侵食幅・侵食深の解析、土木技術資料、57-11、p. 22-25
- 4) 小山内信智、内田太郎、曾我部匡敏、寺田秀樹、近藤浩一 (2005) : 簡易貫入試験を用いた崩壊の恐れのある層厚推定に関する研究、国土技術政策総合研究所資料、第 261 号、46pp.
- 5) 建設省河川局砂防部砂防課 (1989) : 土石流対策技術指針 (案)
- 6) 松岡暁、山越隆雄、田村圭司、長井義樹、丸山準、小竹利明、小川紀一郎、田方智 (2009) : LiDAR データの差分処理による流域土砂動態把握の試み、砂防学会誌、Vol. 62、No. 1、p. 60-65
- 7) 石川芳治、水山高久、福澤誠 (1989) : 土石流に伴う流木の発生及び流下機構、砂防学会誌、Vol. 42、No. 3、p. 4-9
- 8) 神野忠広・吉田俊康・石田哲也・宮原靖・藤本拓史・守岩勉 (2010) : 流木量算出のための林相区分および材積量算出への航空レーザ計測データの活用方法、平成 22 年砂防学会研究発表会概要集、p. 131-132
- 9) 嶺一三 (1958) : 測樹、朝倉書店、146pp.
- 10) 水山高久 (1990) : 土石流ピーク流量の経験的な予測、文部省科学研究費重点領域研究、「自然と災害の予測と防災力」研究成果、土石流の発生及び規模の予測に関する研究、文部省科学研究費 重点領域研究「自然災害の予測と防災力」研究成果、p. 54
- 11) 高橋保 (1978) : 土石流の発生と流動の機構、土と基礎、Vol. 26、No. 6、p. 46
- 12) 芦田和男、高橋保、沢田豊明 (1976) : 山地流域における出水と土砂流出、京大防災研年報 19-B、p. 345
- 13) 水山高久、瀬尾克美 (1984) : 山地小流域の洪水到達時間及び短時間降雨強度と継続時間の関係、砂防学会誌、Vol. 37、No. 3、p. 20 及びその修正砂防学会誌、Vol. 39、No. 1、p. 16

- 1 4) 水山高久, 上原信司 (1984) : 土石流の水深と流速の観測結果の検討、砂防学会誌、Vol. 37、No. 4、p. 23
- 1 5) 水山高久, 上原信司 (1981) : 湾曲水路における土石流の挙動、土木技術資料、Vol. 23、No. 5、p. 243-248
- 1 6) 武澤永純、内田太郎、鈴木隆司、田村圭司 (2009) : 鹿児島県船石川で発生した深層崩壊に起因する土石流の推定、砂防学会誌、Vol. 62、No. 2、p.21-28
- 1 7) 大坂剛、高橋英一、國友優、山越隆雄、能和幸範、木佐洋志、石塚忠範、宇都宮玲、横山康二、水山高久 (2013) : 桜島における土石流荷重計による単位体積重量測定、砂防学会誌、Vol. 65、No. 6、p. 46-50
- 1 8) 藤村直樹、黒岩智恵、泉山寛明、赤澤史顕、水野秀明 (2016) : 不透過型砂防堰堤による流木の捕捉と流出に関する実験報告書、土木研究所資料第 4331 号